

経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 上郡町

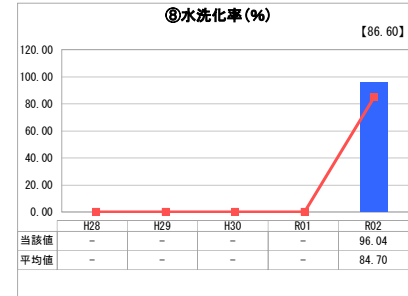
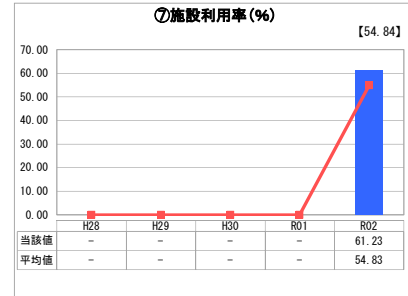
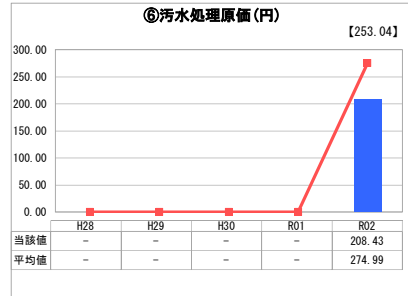
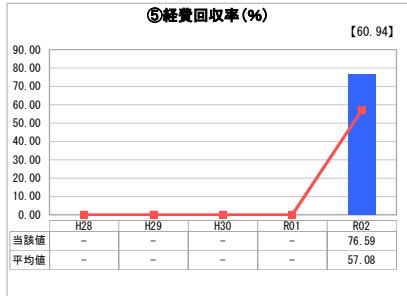
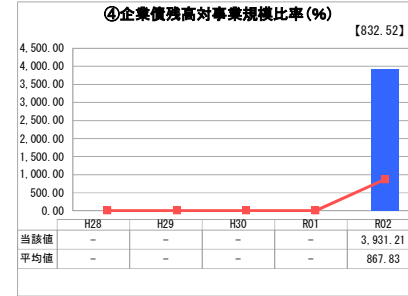
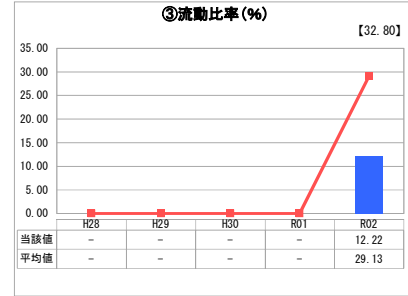
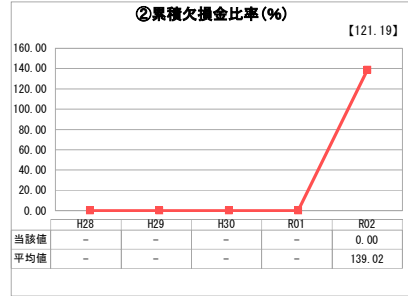
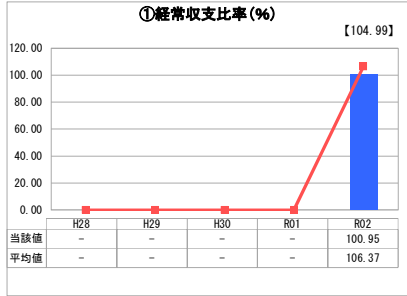
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	44.50	18.47	88.34	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,547	150.26	96.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,677	1.09	2,455.96

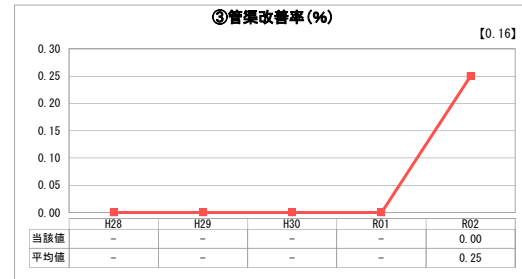
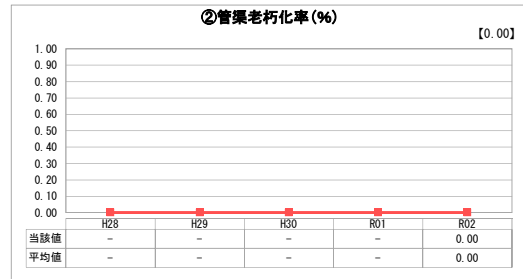
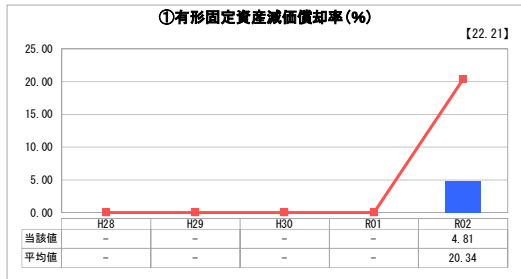
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度より、農業集落排水処理事業に、地方公営企業法を適用した(令和2年度以前は法非適のため数値比較できない)

① 経常収支比率は、100.95%であり、100%を超えており、単年度収支は黒字となっているが、使用料収入だけでは、経費を賚ることができないため、経費の一部を、一般会計からの繰入金(基準内・基準外)で賚っている。

② 流動比率12.22%で、類似団体平均値よりも低くなっており、流動負債の大半を占める企業債償還が多額であることが主な要因であり、支払に必要な現金を一時借入金で賚っている。

③ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値より高い数値を示しており、企業債残高が高額であることを示しているが、今後企業債残高は減少する見込みである。

④ 経費回収率は、類似団体平均値より高い数値となっているが、100%を下回っており、使用料収入だけで賚ることができない経費の一部を一般会計からの繰入金で賚っている。

⑤ 汚水処理原価は、類似団体平均値より低いが、今後施設の老朽化やそれに伴う更新費用の増加により上昇する可能性がある。

⑥ 施設利用率は、類似団体平均値を上回っており、処理能力に余裕がある状況であるが、今後人口減少により施設が過大となる可能性がある。

⑦ 水洗化率は類似団体平均値よりも高く、区域内の整備は完了している。

2. 老朽化の状況について

最も古い施設で、共用開始後約29年程度経過しているが、令和2年度より地方公営企業法を適用したため、①有形固定資産減価償却率は、4.81%となっている。平成28年度から一部の処理場の機能強化事業を行ったが、それ以外の施設の更新は行っておらず、老朽化が進んでいるところもある。

今後は、最適整備構想をもとに計画的に施設の保全を行い、効果的な施設維持と長寿命化を図り、施設統合などについて検討しながら、既存施設の有効活用に努める。

全体総括

農業集落排水事業は、計画区域内の整備が完了しており、今後は接続率向上に伴う使用料の大幅な増収は見込めない状況である。また、過去の投資に伴う企業債の償還が残っており、施設の老朽化に伴う修繕費の増加に伴う維持管理経費が増えることが懸念される。

今後は、人口減少が進み、有収水量の大幅な増加は見込めないため、使用料収入の減少が予測されることから、効率的な施設維持と最適整備構想をもとに、計画的に施設の保全を行い、安定的な経営に向けた使用料収入の確保に伴う料金改定や、施設統合について検討し、効率的で健全な経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。